

頑張りたいくても 頑張れない…苦しみ

「頑張る子を支援します」「やる気のある子を応援します」というキャッチコピーをよく耳にします。これらのメッセージは、真に支援を必要としている「頑張れない子」「やる気が出ない子」を突き放すことになりかねません。**頑張れないがゆえに切実に支援を必要とする子供たち**がいます。

逆に、「頑張らなくてもいいよ」という安易な声掛けは、直面している課題を先送りにして、本人の可能性を奪ってしまうかもしれません。そこで本校では、少し頑張る、でも無理をしない、その糸口となる**新たな方策**を始めました。



東京都教育委員会「校内別室指導員の配置事業」を活用

南校舎 1 階に**ふじみスマイル（あんしんルーム）**を設置

安心できる場所がある = 笑顔が、かけがえのない「命」を守ります



登校できない・教室に入れない子供たちが、教室とは違う雰囲気の中、『**笑顔で過ごせる部屋**』です

- 校内別室指導支援員が常時在室し、一人一人の必要に応じた受け入れ体制を整備
- 支援員とともに、学級担任をはじめ、すべての教員が個のニーズに合わせて支援
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家にも相談できます

スマイルでの過ごし方

スマイルでは、一人一人に応じた

過ごし方ができます。例えば…

- 人間関係など個々が抱えている不安を相談したり、一時的に休息したりできる場として。
- 安心感やコミュニケーション能力を高めたりして、登校への不安を軽減させる場として。
- 休み時間や放課後などは、気の許せる特定の友だちと落ち着いた環境で過ごす場として。

スマイルでの学習方法

スマイルでは、一人一人に応じた

方法で学習することができます。例えば…

- 学級の時間割で、オンライン授業に参加し、授業内容が理解できるようにする。
- 個々の課題に合わせたプリントやくじらーニングで、自分の進度で主体的に取り組む。
- 学習に対して苦手意識が強い場合は、図工の作品づくりや音楽などに取り組む。

スマイルの利用方法

スマイルの利用方法は、一人一人と相談しながら決めます。**例えば…**

- スマイルであれば登校できる子は、教室に入らず、スマイルで終日過ごすこともできます。
- 学校と家庭の連携推進事業支援員が、家庭を訪問して一緒に登校し、その時間からも利用できます。
- 教室にいるのが辛くなった時にスマイルを利用して、可能であれば教室に戻るようにします。
- 利用時間を相談して、決めた時間にスマイルに来室して、決めた時間に教室に戻ります。

まずは、担任の先生など、話しやすい人に、相談してみてください！



児童向け

ふじみスマイル

がんばりたいのに がんばれない……

とうこう こ きょうしつ はい こ
登校できない子 教室に入れない子のための
「ふじみスマイル」(あんしんルーム) です



きょうしつとは ちがうふんいきのなかで すごせます

- しえんいんのせんせいが、ひとりひとりにあった、しえんをすることができます。
- スクールカウンセラーと、おはなししたり、そうだんしたりすることもできます。

すごしかた

あなたにあった**すごしかた**ができます

- きょうしつにいるのがつらくなったとき、ゆっくりすごすことができます。
- こまっているとこや、なやんでいることをそうだんできます。
- やすみじかんなどは、ともだちとすごすこともできます。

がくしゅうのしかた

あなたにあった**がくしゅう**ができます

- オンラインじゅぎょうにさんかすることができます。
- じぶんにあったプリントやドリルなどにとりくむことができます
- すこうやおんがくなどのがくしゅうもできます。

スマイルのつかいかた

- 学校(がっこう)にはこられないけど、スマイルならこられそうなときに。
- 教室(きょうしつ)にいるのがつらくなったとき、かえりたくなったときに。
⇒ 先生(せんせい)やお家(うち)のひとにおはなししてください。